

個票No.	項目	意見の内容	平成 28 年度の実績
I-20	林業担い手育成支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業チャレンジ体験の評判は良く、また、事業の成果が現れるまで時間がかかることから、経験者の再度の呼びかけ等、長く続けるべきと考える。 ・ 市行造林・市有林の活用計画はこれを所有する市町村では一般的な業務として取り組んでいるものと思われるので、改めて総合戦略のKPIとして位置付けるべきと考える。 	① 林業チャレンジ体験参加者数：25名/年 ② 市行造林・市有林の整備面積：15ha/年
II-5	海外におけるPRの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人観光客の増加は各企業の営業の結果でもある。 ・ 外国人観光客は手軽に全国を回る特徴があり、都道府県をまたぐような観光ルートに村上市をどう繋げたり絡めたりしていくかが課題である。 	外国人観光客数：5,020名
II-9	観光イベント事業補助金 (産業支援プログラム)	<ul style="list-style-type: none"> ・ この事業によって良いイベントが生まれていることから、イベントを定着させるためにも支援の継続を検討してほしい。 	イベント数：10件
III-8	出前託児事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ この事業を利用した会合に参加したところだが、これまでになかった子育て世代の若い女性が参加しており、そうした方の意見を得ることができた。とても効果的な事業と考える。 	出前託児事業利用件数：23件
III-9	子育て支援メール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共働きの家庭で、専ら祖父母が育児を行っている世帯も多いと考えられることから、紙媒体による情報提供も必要と思われる。 ・ 例えば、メールマガジンの執筆者を募り、行政の連絡だけではない、広い情報を発信させることも効果的と考える。 	登録件数：683件

個票No.	項目	意見の内容	平成 28 年度の実績
報道関係者の意見について	自治体 PR について	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信は大切である。市長だけでなく各課から、もっと高頻度に記者会見があってもよいのではないかと考える。 	
総合戦略の変更について	スケートボードの聖地「むらかみ」プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 新設される施設は、トップアスリートだけではなく、若者や子どもが気軽に遊べるような部分があれば多くの人に利用される施設になると思う。 	
総合戦略の変更について	村上市奨学金返還支援補助金	<ul style="list-style-type: none"> 進学する学生の就職状況（会社・職種等）が分かれば、若者のUターンに関する施策を講じていくうえで重要なデータになると考える。 	